

※本人からの申し出により削除 (2023年1月)

Boys&Girls, Be Kids Ambitious! 頑張る子どもを紹介します

「大好きなホッケーを極めたい」

とうしょう いっし 東正 一志 さん=西古泉= おおまさ そう た 大政 颯太 さん=恵久美=

岡田小学校6年生の東正一志さんと大政颯太さん。松前ホッケークラブに所属し、日々練習に励む男の子です。

小学校2年生のときに友達に誘われてホッケーを始めたという一志さん。「最初はホッケーって何だろうと思った」と笑うように、当時はクラブの人数も少なく、あまり知られていないスポーツでした。ホッケーのスティックは扱いが難しく、小学校5年生からクラブに入ったという颯太さんは、「まともに打てるようになるまで1年くらいかかった」と話します。それでも週5日のクラブ活動で着実に実力をつけた2人は12月15日、中四国の5チームで開催された「広島カップ」に出場。中学生と一緒にチームで準優勝を果たすなど活躍しています。



将来は、「得意なことだけじゃなくて何でもできる選手になりたい」と語る一志さんに、「世界中にホッケーを広められるようなプロ選手になりたい」と目を輝かせる颯太さん。まずは3月に町内で開催される「まさきカップ」での活躍を誓う2人は、互いに高め合いながらこれからもその技を磨いていきます。

今回は私が、日本のお菓子文化を伝承する「世起」について紹介します。



株式会社世起 企画開発部
今村優作 さん
Imamura Yusaku

松前の 魅力 伝え隊

町民が松前町の魅力を取材します



「株式会社世起」といってもピンと来ないかもしれませんが、「黒ごまきな粉げんこつ飴」や「みかんもち」は見かけたリ口にしたりしていませんか。

私たちの会社は昭和45年、菓子付き玩具の製造卸売として起業し、菓子製造にシフトしてきました。創業当時から、特に新製品開発に力を入れ、創業50年となる今日までに250種類以上の製品を世に送り出しています。フジやまさき村だけでなく、東京でも成城石井などで販売しています。

経営理念に沿って動いていますので、全社員が、会社が今どんな状況にあり、今後どういう方向に進むかを共有しています。近年は毎年、地元採用(新卒)が入社しています。ブラザーシスター制度を取り入れ、2人で1人分の仕事を行うことで、新人は確実に仕事を覚え、教える側も仕事の奥深さを学べるようになりました。社員にはi-padを配布し、業務の効率化、見える化、スピード化を図り、写真や動画を交えて業務報告できるようにしました。毎日、環境整備(自分が働く場所の整理・整頓・清掃)を行い、お客様に「昔懐かしい」お菓子を自信を持って製造しています。

「砥部町オールロケのあの映画に、松前町の人も参加しているらしいよ」との情報が。しかもその映画は、砥部焼で聖火台を作る物語だというじゃありませんか。3月号で、サムライジャンの強化合宿や聖火リレーを紹介しようと思っていた私は今回の特集を企画。皆さん快く取材に協力してくれました。



このコーナーは、広報担当者ではなく町民の皆さんがカメラを持って、松前町の魅力を取材します。取材してくれる人を募集中です。詳しくは、総務課広報情報係(☎ 985-4132)に連絡を。

Reporter

時代に合わせた「美味しく食べる楽しみ」が何かを追求し続けることで、これからも、昔懐かしい日本のお菓子文化を伝承・発展させます。



協力して環境整備

商品の袋詰め

世起工場外観

編集後記

防災の公開講座を取材しました。災害時の自分の命を守る行動や地域が協力し合う体制作りなど、自助や共助の考えを学ぶいい機会でした。

防災意識の高まりについて我が家の対策を確認。「防災グッズは備えてるよ」と言うので聞く、猫の餌や飲料水などペット用品ばかり。僕は「災害時の愛猫の万全の備えに安心しつつも、自助の大切さを再確認させられた出来事でした。(松本)

